



新ひだか町

議会だより

平成25年10月
第29号



静内温泉オープニングセレモニー



静内温泉正面玄関

今月号の主な内容です

- 9月定例議会
 - ・一般会計補正予算など
 - ・追加議案
 - 三石本町デジタルテレビ中継局整備工事
- ここを聞きたい・聞きたい…
 - ～一般質問7人、18項目～
- 第5回臨時会
 - ・工事請負契約締結
(静内柏台団地公営住宅等建設建築工事など)

編集 新ひだか町議会広報特別委員会
発行 新ひだか町議会

〒056-8650 北海道日高郡新ひだか町静内御幸町3丁目2番50号
TEL 0146-43-2111 FAX 0146-43-3900

E-mail gikai@shinhidaka.hokkai.jp
新ひだか町ホームページ <http://shinhidaka.hokkai.jp/>

静内温水プールに廃食油ボイラーが導入される

「一村一エネ事業」の取組み 環境にやさしい地域づくりに向けて



ボイラー室

静内温泉プール

9月定例議会は9月10日から12日までの3日間開催され、町長の行政報告、教育長の教育行政報告、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告、7人の議員の一般質問に引き続き、「一般会計補正予算」など12議案が可決され、1件の決議、4件の意見書についても可決されました。

今回、静内温水プールに北海道の補助事業を活用して、廃食油ボイラーを導入することになりました。同プールの2基の重油ボイラーは平成6年の開設時より使用しており、その内1基は平成23年度に改修されていますが、もう1基のボイラーも更新時期であることから、北海道の補助事業「省エネルギーで元気な町づくり資金」を活用して、重油ボイラーを廃食油ボイラーに入れ替えることにしたものです。これにより廃食油ボイラー7、重油ボイラー3の割合で稼働するため、

燃料費が年間で80万円、二酸化炭素排出量を125トン削減できると予想しています。本事業は町と町体育協会が「新ひだか元気エコタウン推進協議会」を組織して「新ひだか町省エネルギーで元気な町づくり推進事業」の名称で実施します。町民の皆様には、廃食油回収によるごみの減量や低炭素化の取り組みにより、環境にやさしい地域づくりにご協力をお願いいたします。なお、廃食油の回収については、設置場所などが決定した後に町広報等で周知いたします。

**補正予算可決、
一般会計で
1億1,170万円
の追加補正**

補正予算の主なものは、次のとおりです。

○地域介護・福祉空間整備等事業補助金として

3,200万円

○農業振興施設等整備事業補助金として

560万円

○新築・リフォーム促進事業補助金として

1,500万円

議決された議案等

○地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率及び資金比率（報告）

健全化判断比率	平成24年度 算定比率	基準(参考)	
		早期健全化基準	財政再生基準
① 実質赤字比率	-	13.32%	20.00%
② 連結実質赤字比率	-	18.32%	30.00%
③ 実質公債費比率	14.3%	25.0%	35.0%
④ 将来負担比率	96.2%	350.0%	

当町は、現状での財政再生への心配はないものと思慮するものです。

※実質公債費比率とは、自治体の財産規模に占める借金返済額の割合。25%以上で早期健全化団体。

※将来負担比率とは、財産規模に対する地方債残高の割合。350%以上で早期健全化団体。

○議決変更

※平成25年5月13日招集の第3回臨時会で議決された議案第3号「旧静内文化センター・図書館解体工事」の契約金額の変更
○新ひだか町子ども・子育て会議条例制定
※法施行による

○新ひだか町社会体育施設条例の一部を改正する条例制定
※梟舞ゲートボール場を削除（廃止のため）

○北海道後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約の議決

○工事請負契約締結

※三石本町デジタルテレビ中継局整備工事

○平成24年度水道事業会計、病院事業会計決算認定
※企業会計決算審査特別委員会を設置して付託する。選任された委員は次のとおり。

委員長 筑紫 文一
副委員長 建部 和代
委員 觸澤 清
遠藤 敏弘
南川 州弘
福嶋 尚人
渡辺 保夫

決議

・浦河赤十字病院の精神神経科存続を求める決議
提出者 日向寺敏彦

意見書

・道州制導入に反対する意見書
提出者 日向寺敏彦
・若い世代が安心して就労できる環境等の整備を求める意見書
提出者 建部 和代
・鳥獣・海獣被害防止対策

の充実を求める意見書

提出者 池田 一也
・原発のない北海道の実現を求める要望意見書
提出者 川合 清

行政報告

・低気圧による被害状況（8月18・19日）
・日高地方の総合開発に関する要望活動
・静内対空射場の特定防衛施設指定に関する陳情活動
・馬産地活性化に関する要望活動
・第19回みついし蓬萊山まつりの開催結果（7月7日）
・第7回新ひだか夏まつりの開催結果（7月27日、8月13日、8月15日）
・枝肉研究会における出品牛の入賞
・工事に係る入札の執行（7月24日～8月22日、19件）
・委託業務に係る入札の執行（8月22日、1件）
・工事の仮契約（9月5日、1件）



旧静内文化センター・図書館解体工事

ここを聞きたい、聞きたい… 一般質問7人、18項目

Q 危機管理専門職（総合危機管理士）導入時期について
A 平成26年度当初から採用してまいりたい



清創会
細川勝弥 議員

質問 新ひだか町として、危機管理専門職の導入について、進捗状況・導入時期についてお伺いします。

（総務課長答弁）昨年12月の定例会で、先進地事例の調査・研究をさせていただくとご答弁申し上げ、今年3月に、元自衛官を採用している、道、札幌市など23自治体に対し、防災担当部での採用人数、雇用形態、総合危機管理士等の資格の保有状況、業務内容を調査し、21自治体の回答内容では、常勤11人非常勤19人で資格者16人資格のない者14人防災、国民保護等の危機管理対策に係る訓練や計画立案、防災知識の普及・啓発

等の業務のほか、自衛隊との連絡調整に関わる業務等が回答として多くありました。危機管理専門職の導入時期につきましては、説明した先進地事例の調査を参考に、細部について検討のうえ、今後の国民保護対策・防災対策に生かしていくため有資格者を平成26年度当初から採用したいと考えております。

質問 耐震改修補助金の創設については、利用が増えている新築・リフォーム等促進事業の制度を有効活用し、進めていきたいとのことでしたが、26年度継続されるのかお伺いします。

（町長答弁）私、また議員

の皆さん方も来年4月改選期です。この事業は政策的予算というところまえをしておりますので、骨格予算の構成で持って、私の考えとしては、建設課長からの答弁にもありましたように、投資的事業の補完的な役割という意味で有効な政策と考え、来年度も行うべき政策と考えております。また総務課長から種々答弁された危機管理専門職を来年度から採用し配置したいと考えております。

（その他の質問）

・災害に強いまちづくりの取り組みについて①防災力強化②気象特別警報の取り組みについて③耐震化促進計画・防災訓練今後の進め方
・新ひだか町国民保護計画について①変更後の具体的内容②組織体制・研修体制
③国民保護措置についての訓練の進め方について



非常食をリヤカーで搬送



緑町第5自治会避難訓練

Q 予防保全型に姿勢を変えるべき
念頭に置き取り組んでまいりたい



公明党クラブ
池田一也 議員

質問 北電の電気料金値上げによる影響は、町有施設をリース方式によるLED照明に替えるべきでは。家庭用LED購入費用の補助をすべきではないか。

（総務課長答弁）今年度と来年度を比較し、年額で1,925万円の増加が見込まれる。

リース方式によるLED照明導入は、エスコ事業があるので前向きに検討していきたい。電気会社のリースもあるので検討したい。（生活環境課長答弁）家庭用LED購入費用の補助は他町の例も参考にしながら、今後検討したい。

（町長答弁）家庭用LED購入費用補助制度は、町民の節電の喚起に大事なことなので、進めるべきと考えている。ただ、改選期でも

あり町単費の投入と有利な制度や国や道の既にあるものと勘案しやっていくべきと考える。

質問 特に、緊急避難道路の空洞調査をすべきではないか。サンプル調査だけでも行うべきではないか。

（建設課長答弁）道路ストック老朽化対策事業の中で実施していきたい。幹線道路や交通量の多いところや通学路なども含めて調査対象としたい。予防保全の考え方から、パトロールを強化し、限定した中で箇所を抽出し、サンプル調査ができるか、費用がいくらかかるかなどの検討を進めてみたい。

質問 「予防保全型」というが、町の姿勢は「事後保全型」になっている。予防保全型に町の姿勢を変えて

いくべきではないか。

(町長答弁) 指摘はごもつともだと思っっている。非常に切実な財政状況に頭が引

っ張られているようだ。指摘を念頭に置いて物を見ていくことをより心がけて取り組んでまいりたい。

Q ピュア再開のトライアル社との交渉経過について
A 相手側の施設改修案に一定の公費を支出する



真正会
志田 力 議員

質問 ①相手方の主たる要求とそれに対する予算規模
②トライアル社の営業内容
③賃料の算定の考え方、今後の方針について。

(町長答弁) 7月24日、トライアル社から出店に当たっての施設改修案が示された。この改修案は町として改修して頂きたい、また計画通りの改修が実施できなければ、今後の協議が進展しないとか、いわゆる要望条件ではない。示された計画案を基本として、ピュア再生計画のコンサル業務を委託している業者の助言を受け、基本的にはトライアル社による改修を行なって頂きたいとした上で、トイ

レの新設、エスカレーターの撤去など計画案の一部について町が負担することを8月19日に相手側に伝えた。営業内容としては、24時間営業とし、食料品のほか、服飾、医薬品なども計画されているが、これらの項目については今後の協議の中で明らかになってくるものと考えている。賃料の算定に当たっては独立採算を基本とし、コンサルタントの助言も頂きながら費用の負担、費用対効果なども精査した上で慎重に判断していかなければならない。今後の方針については、ピュアの一日も早い再開という最大の目的は当初と変わっており

ません。その目的を達成する手段として一定の公費の支出、すなわち入居の為の環境を整備することも必要であると考えます。今後の協議の中で慎重かつ重大な決断を下さなければならぬ時期は近いと考えています。

(その他の質問)
・旧三石二中跡地(パークゴルフ場建設予定地)のその後の道との協議経過
・旧歌笛小グラウンドの売却が遅れている要因と今後の見通しについて
・行政評価のあり方について
・(町有施設の機械、什器設備等の入れ替えの考え方について)



旧三石二中跡地

Q 平成26年度予算編成にあたり、町長の政策である町単費の事業(医療技術者の資金貸付事業、健康づくり商品券発行事業、住宅建築促進事業、新規高卒者の雇用促進事業等)の継続について
A 新年度予算は骨格予算となりますが、私の思いを反映した政策ということで、今まで行ってきた町単費のものは、継続してやっていくべきと考える



町民連合
進藤 猛 議員

質問 平成26年度予算編成に係わり基本条例との関連から各団体からの意見交換を行い、来年度の予算編成をするという時期になっていくと思うが町長の考えは。

(町長答弁) 予算の中でも政策的なものは、来年度改選後の6月議会に諮る、いわゆる政策予算ということになると思うが、骨格的なものの中で、福祉に関するものとか、医療に関するものとか、これだけではどうしても最初から組んでおかなければならないというものについては、団体等の要望を踏まえ、またその団体と

の必要であれば懇談会等も踏まえ、予算編成をしなければならぬと考えています。

町税の収入が、国の見ていくように地方税の増収というようにならない場合、国は積算をしている交付税で補填してくれるということになっていくが、自前の増収、すなわち町税収入が上がって町単費のものを活用した、町おこし、あるいは経済活性化というものが組めるわけで、そのようになってほしいと思っっています。

質問 廃校となっている校

舎の維持管理について（光熱水費等）

（契約管財課長答弁）昨年の実績で、6校分全体で721万9,660円の支出で、大きく分けて需用費、役員費、委託料であり、59%が需用費、5%が役員費、委託料が36%という構成です。それで全体の中で一番占めているのが電気料で322万858円で費用の44%を占めています。

も早く手をつけ負担が軽くなる手立てを。

（企画課長答弁）企業立地のノウハウが足りない部分がたくさんあると思います。北海道の企業立地担当課、経済産業局の企業立地の担当者などに今後のアドバイスもいただきました。一部職員だけへの売り込みだけではなく、専任職員を配置すべきなどの助言をいただいで町に見合った手法を模索し実行していきたい。

Q 産婦人科医院の閉院後の産婦人科医療体制について

A 産婦人科に対する医療機関が皆無とならぬように取り組んでまいりたい



公明党クラブ
建部和代 議員

質問 河野産婦人科医院に妊婦検診で通院されている方の対策はどのように考えているのかお伺いします。

（健康推進課長答弁）通院は浦河・苫小牧になると思いますが希望される病院に

紹介状が出されると思いますが。この場合、町単独事業として、交通費の助成の対象になります。

質問 今後の産婦人科医療の対応策はどのように考えているのかお伺いします。

（健康推進課長答弁）町として視点を变えて、産科の常勤医師や分娩、手術にこだわらず、週2日ないし3日の外来診療で中期までの妊婦健診や一般の婦人科診療のみに限定し、分娩可能な病院や専門病院を紹介するような医療提供体制を最低限度に絞り込めば、出張医の確保は可能性があるのではと考え大学の産婦人科教授と面会し、出張医派遣の可能性について相談させていただいているところで

質問 子宮がん検診、中でも無料クーポンでの検診では受診の5割強の方は河野産婦人科医院での受診をされておられ、閉院されると検診の低下が懸念されますが、検診の低下をさせない施策の考えを、お伺いします。

（健康推進課長答弁）11月以降ですけれども現在、町で実施している集団検診、それからバスの無料送迎でのがん検診を積極的にPRして、がん検診の受診率低下にならないように努めていきたい。今後のがん検診

の予定ですが、集団検診では12月7日に三石保健センター、無料バスですと10月22日、1月22日、2月28日を予定しております。

質問 今後、産婦人科の開

設を考えるとときに、河野産婦人科医院の建物を使用するのか町立病院の院内を考

えているのかお伺いします。

町として3つ目の医療機関を抱えるのは難しいとお思いますが、やはり効率的なのは、町立静内病院の中の開設が一番効果的だと思います。

（その他の質問）

- ・空き家対策について
- ①空き家の状況を把握する実態調査について
- ②空き家に関する条例制定の取り組みについて
- ③条例制定の結論の時期について

Q 老朽化した町営住宅の整備について

A 立地条件によって用途廃止や売却も視野にいった検討していく



新好クラブ
渡辺保夫 議員

質問 民間住宅の借り上げ方式について当町として検討したことがあるか

（建設課長答弁）平成18年に検討をしているが、当町においては、公営住宅の基準に合致した仕様の民間住宅が建設されていないこと

や、町が民間から借り上げる借上料と入居者からいただく住宅使用料に差額が生じるため、この差額が町の負担となるデメリットがあるので直接供給する方式として行く。

質問 公住の売却について

は、実現に向けて検討しているのか

(建設課長答弁) 公住の売却については、棟ごとに売却しなければ途中で切って売らなければならないなどの売却に支障となる要素があるので、他町の事例を参考に今後引き続き検討していきたい。

質問 町営住宅条例第4条の7号による住み替えが出来ることを定期的に周知することについて

(建設課長答弁) 今後実態調査を行った上で、定期的に周知が図れるよう検討していきたい。

質問 町営住宅を健全に運営するために我が町独自の政策が必要ではないか

(町長答弁) 公住で住まわれる方も、なるべく快適な状況で住まわれたいという欲求、要求が上がってきておりますので、そういったこともかんがみながら対応していく。

(その他の質問)

・新ひだか町T P P対策検討本部の活動内容について
①本部の構成はどのように

なっているのか

②広報4月号にT P P関連記事が掲載された以降に行った調査・研究で新たに得た情報等はあるのか

③今後、当町に係る影響等の調査・研究内容をどのようにして町民に周知するか

・新ひだか町軽種馬農家等改善対策事業について

①静内地区における事業の進捗状況について



東静内町営住宅

A Q トライアル社への「公費支出」際限なくなるのでは 時期を見て議会側に相談していきたい



川合 清 議員

質問 ピュア後の店舗展開に、志田議員に対する答弁で「1階全部、居抜きで、独立採算」という貸付条件を変更し、今後「公費負担も出る」という方針転換を明らかにしました。

トライアル社との協議は改装費や今後の家賃など問題で、いわゆる足元を見られて秘密裡に協議をしている。

トライアル社との協議について「差しさわりがあ

る」として内容を明らかにしてこなかったが、今後は明らかにすべきだし、以前「町のなかに若干のうごきがある」との答弁があるが、そのうごきが今どうなっているのか伺う。
(商工労働観光課長答弁)
トライアル社の今後の企業戦略に影響があると考えら

討されているという話は伺っております。仮に、ピュア再生に向けて、何らかの提案をされる準備が現段階でされているとすればその提案を拒否するものではありません。

質問 トライアル社への公費投入も、地元の1階全部埋まらなくても、また誘致条件で家賃を安くすることも同じことだ。

(町長答弁) トライアル社が「幾らなんでもそれでは」というときには次の段階に。そのとき、1階全部を埋めてくれる使い方が一番望ましいのですけれど。

臨時会 8月8日開催

第5回臨時会は、8月8日に開催され、工事請負契約締結について(静内柏台団地公営住宅等建設建築工事その1) 5,908万1,400円で、(静内柏台団地公営住宅等建設建築工事その4) 5,882万7,195円などを追加補正で可決されました。
(その他の議案)

○専決処分報告について(損害賠償請求事件の和解及び損害賠償額の決定について)の2件

○議決変更について(第3回臨時会において議決された議案第2号工事請負契約(静内青柳町団地公営住宅外壁防水改修工事)締結について、契約金額「6,391万350円」

議会のうごき

- ◎総務常任委員会
 - 8月1日
 - 27日
 - 29日
 - 9月10日
- ◎文教厚生常任委員会
 - 8月5日
 - 27日
 - 30日
 - 9月10日
 - 24日
- ◎経常任委員会
 - 8月2日
 - 7日
 - 9月3日
- ◎議会運営委員会
 - 8月6日
 - 9月6日
 - 10日
 - 11日
 - 10月4日
- ◎議会広報特別委員会
 - 9月12日
 - 10月15日
 - 17日
- ◎企業会計決算審査特別委員会
 - 9月12日
 - 10月11日
 - 16日
 - 21日

- 7月29日 南あわじ市議会来町（行政視察）
- 8月1日 徳島県議会来町（行政視察）
- 5日 日高中部消防組合議会臨時会
- 8日 第5回臨時会、全員協議会
- 30日 日高中部二町議会議員親睦スポーツ大会
- 9月9日 日高町村議会議長会臨時会
- 10日～12日 第6回定例会
- 25日 日高地区森林・林業・林産業活性化推進議員連盟連絡会総会
- 26日 釧路町議会来町（行政視察）
- 27日 日高中部広域連合議会定例会
日高中部衛生施設組合議会定例会
- 10月2日 日高町村議会議長会懇話会
- 9日 山を見る会
- 25日 日高地区軽種馬産業活性化推進議員連盟連絡会（講演会）

を「6,794万5,500円」に、「304万3,350円」を「323万5,500円」に変更）

（第4回定例議会において議決された議案第1号工事請負契約（生きがいセンター）にかわみ建設建築主体工事）締結について、契約金額「8,444万5,200円」を「8,801万1,000円」に、「402万1,000円」を「419万1,000円」に変更）

○財産の取得について
《集農研修施設（静内ハウス団地）用地に充てるため（除雪作業用として、除雪トラック1台）

10月9日 林活議連「山を見る会」

新ひだか町森林・林業・林産業活性化議員連盟主催で「山を見る会」が開催され、視察場所は新冠泉地区の町有林と静内田原地区の日高中部森林組合の製材工場を視察しました。

新冠泉地区の町有林ではカラマツ、トドマツの除間伐の作業状況と、安定的な木材の供給と地域経済対策、地区振興が併せて図られることを目的とする「森林整備加速化・林業再生事業」による林道の見学。

日高中部森林組合では、



泉地区町有林

姥谷組合長の挨拶後に、岩倉常務理事から組合の体制や組合の主な事業内容等の説明を受けた後、製材工場で見学しました。

日高中部2町議会議員親睦スポーツ大会

8月31日（土）は、あいにくの雨になり、延出体育館でのフロアカーリング大会となりました。

開会宣言、昨年優勝チーム（新ひだか町議会）より優勝杯返還、選手宣誓（開催町チーム）などの開会式の後、午後2時より競技開始。団体戦1チーム8名で5セットの総得点争い、個人戦は全員参加の大会で、個人戦も団体戦も圧倒的に新冠町議会チームの優勝で終わりました。



皆様の議会傍聴をお待ちしております。

編集後記

★暑い夏も終わり、涼しく過ごしやすいい季節となりました。秋といえば食欲の秋、スポーツの秋ですが、10月14日は体育の日、東京オリンピックを記念し、制定された体育の日には、全国各地で様々なスポーツイベントが開催されます。新ひだか町では9月8日ハーフ・シベチャリマラソン大会が開催され、遠くは高知県など道外からの方も含め424人の選手たちは汗ばむ陽気の中、各コースで力走し、沿道の声援を受けながらゴールを目指し、タイムを競っておりました。

★同日ビックニュース、2020年開催の五輪が56年ぶりとなる夏季オリンピック大会の開催都市に東京が決定、2度目の開催はアジアでは初、会期は7月24日から8月9日まで、パラリンピック大会も決まり、9月6日まで開かれます。またサッカーは札幌ドームでも行われるなど、開催までの7年間、今から楽しみです。